

トーク(得)
**東区する
コミ協
情報**

地域コミュニティ協議会(コミ協)は、地域における課題を解決するため、地域で主体的な取組のもと結成された組織です。概ね小学校区を単位とし、自治会・町内会を中心に、地域のさまざまな団体等で構成され、東区内には**12コミ協**が活動しています。

今回は地図にある2つのコミ協を紹介します。



東山の下地区コミュニティ協議会 会長 若槻 勲

定着した初夏の東山の下フェスティバルと秋の三世代交流大運動会 地域の絆が深まる

「東山の下フェスティバル」は、地域の絆づくりと、会場の小金公園が一時避難場所に指定されていることを周知するために、3年前から開催しています。特設ステージでの歌や踊りやブラスバンド演奏、小川でのニマスつかみ捕り、飲食ブースでの販売等があり、毎年参加者が増え、今年は3,500人以上が集まりました。また、「三世代交流大運動会」は、24年の歴史を積み重ねた行事であり、毎年1,000人もの参加があります。



当コミュニティ協議会は、福祉活動にも力を入れています。ふれあい給食には8会場600人が参加し、福祉ボランティア「じゅんさいの会」による小さな困りごとの助け合いが、多くの自治会に広がっています。



小・中学校や福祉施設へのボランティアにも取り組んでいて、安心して住める地域づくりのため、手を取り合い活動しています。

南中野山小学校区コミュニティ協議会 会長 嶋田 正章

菜の花プランで環境づくり

当コミュニティ協議会では、新潟市が地球温暖化対策の一環で実施している「にいがた菜の花プラン」を、平成19年度から市民参加の協働モデル事業として実施しています。当コミ協と南中野山小学校が一緒になって取り組み、平成20年9月から種まきを行いました。今年で9年目になります。



毎年、小学校5年生の環境学習の一環で、下記のスケジュールで行っています。

- ① 4月：菜の花畑の草取り
- ② 5月：花の鑑賞・防鳥ネット掛け
- ③ 6月：刈り取り・ハサ掛け・種落とし
- ④ 9月：苗床作り・種まき
- ⑤ 10月：苗定植・草取り
- ⑥ 11月～3月：追肥



地域と小学生との共同作業により、交流が深まるとともに、地域の子どもは地域で育てるという考えのもと取り組んでいます。

私たちこんなことやっています!

Vol.3 「民生委員・児童委員」

みんな仲良くお互い様

民生委員・児童委員は、地域のお子さんから高齢者の方々の「見守り活動」を行っています。そのため、小・中学校との情報交換や友愛訪問は、とても重要な活動です。

また、生活上の様々な相談に応じる「心配ごと相談」については、相談者と一緒に考え、関係機関との連携を図りながら見守りを行っています。

東区内には12の民生委員児童委員協議会があり、委員同士の情報交換も定期的に行っています。

現在、私たちが最も努力していることは、「地域包括ケアシステム」の構築に向けた、お互いが支え合い助け合う地域づくりです。民生委員・児童委員は、「誰かの役に立ちたい」と扉を開けていつでもお待ちしております。(本望 みな子)



編集後記

第7号をお届けします。興味を持って読んでいただけたら嬉しいです。今号では、委員所属団体の活動紹介コーナーが復活しました。区内にそういう活動が!と編集委員にも好評です。

自治協議会では、夏から秋にかけて来年度の自治協議会提案事業を検討します。東区のこれが気になる!等のアイデアがありましたら、ぜひお近くの委員へお話しください。(石垣 順子)

じちきょうぎかいだより

自治協議会だより

平成28年8月21日発行

第7号

発行 者
新潟市東区自治協議会

事務 局

〒950-8709
新潟市東区下木戸1丁目4番1号
東区役所地域課内
TEL: 025-250-2110
FAX: 025-271-8131
E-Mail: chiiki.e@city.niigata.lg.jp

第5期東区自治協議会 2年目がスタート

～さらなる協働の推進を目指して～

～会長2年目の抱負～

東区自治協議会
会長 後藤 岩奈

昨年度からスタートした第5期東区自治協議会も、いよいよ2年目となりました。今年度は「東区まちづくり実践塾(活動編)」に取り組んでいます。昨年度蓄積した知識・情報・理論・経験をどれだけ活かせるかが問われます。

今年度も、地域防災推進事業、東区まちの魅力発見事業、東区の公共交通に関する実態調査など、豊富な内容となっています。委員全員で十分に意見を交わし合い、知識や情報、認識を共有しながら、総力を挙げて取り組んでいきたいと思ひます。また、地域活動団体や新潟県立大学との連携を図りながら取り組んでいきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願いいたします。

～ごあいさつ～

東区長 齋藤 聖子

東区自治協議会の皆さまには、日頃から区民と区役所を結ぶ「協働の要」として、区の特徴を活かしたまちづくりにご尽力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

「自治協議会提案事業」では、地域課題解決のために様々な事業を企画・実施していただき、大きな成果を上げていただいております。

「東区区ビジョンまちづくり計画」がスタートし、今年度で2年目となります。「人が育ち、地域の力が活かされ、心地よく暮らしやすい、魅力あふれる活気のあるまち」の実現に向けて、委員をはじめとする地域の皆さまのお力もお借りしながら、取り組みを進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

東区の宝を磨く! 新庁舎誕生5周年記念プロジェクト

とき 平成28年9月22日(木・祝日)～25日(日) **ところ** 南口エントランスホール・東区プラザ

東区役所が現在の下木戸に移転して、9月で5周年を迎えます。この5周年を記念したイベントが、東区役所の主催で行われます。

東区自治協議会では、この記念イベントとタイアップして、南口エントランスホールでパネル展などを開催します。

展示内容

- ・自治協議会の活動紹介
- ・東区めぐり子どもバスツアーの報告
- ・東区の大規模交通拠点の概要紹介(港・空港・JR車両基地など)

2018年 新東区役所誕生5周年

その他、地域コミュニティ協議会や東区で活動する団体の活動紹介コーナーもあります。自治協議会や地域コミュニティ協議会がどんな活動をしているのか、ぜひご覧ください。(若槻 勲)

平成 28 年度 東区自治協議会提案事業
「東区まちづくり実践塾（活動編）」

昨年度、東区自治協議会では、地域（区民）と行政（区）との「協働」をテーマとして「東区まちづくり実践塾」に取り組んできました。今年度は、そこで学んだ知識や経験をもとにして、より良いまちづくりの実現に向けて、右記の4事業に取り組んでいます。

- ①地域防災推進事業（企画担当：第1部会）
- ②東区まちの魅力発見事業（企画担当：第2部会）
- ③東区の公共交通に関する実態調査（企画担当：第3部会）
- ④東区まちづくり研究会

全ての事業は自治協議会の全体事業とし、担当部会が具体的な企画立案を行い、自治協議会全体で取りまとめ実施します。

また、各事業は必要に応じて、地域活動団体（地域コミュニティ協議会、社会福祉協議会、NPO等）や新潟県立大学と連携しながら実施します。

第1部会（市民協働部門） 部会長 五十嵐 初司

地域防災推進事業

防災をきっかけとした住みよいまちづくりを目指して、地域の中で活躍する防災リーダーの育成を支援し、防災リーダーと地域との繋がりを図ることを目的に、6月22日に研修会を開催しました。第1部では新潟市消防局及び危機管理防災局を見学し、第2部では参加者の意見交換会を行いました。当日は、自治協議会委員、防災士、地域関係者（コミュニティ協議会会長、防災担当者）、新潟県立大学生の約60名が参加しました。



後期も研修会を開催し、防災先進地の長岡市の視察を予定しています。

「地域防災・減災」を切り口にしたまちづくりの一助となれば幸いです。

第2部会（福祉・教育・文化部門） 部会長 吉田 信延

東区まちの魅力発見事業

昨年度に引き続き、東区を紹介するデジタル紙芝居「東区へようこそ～東区の魅力を探る物語～」で取り上げた場所を巡る「東区めぐりツアー」を、今年度は3回計画しています。第1回目を、小学4～6年生の児童を対象に、夏休み中の8月4日に実施しました。秋には、大人を対象にしたツアーを2回実施しますので、ぜひご参加ください。



また、これまで自治協議会及び区が発行した各種情報紙の内容を検証し、東区の魅力の更なる発信に繋がっていききたいと思います。

第3部会（産業・環境部門） 部会長 西方 四郎

東区の公共交通に関する実態調査

平成27年9月の路線バスの再編に伴い、新潟市の公共交通が大きく変化した中で、自治協議会として、東区の公共交通に関して、何が課題でどう改善したいのかを地域住民の目線で整理する必要があると考えています。



専門的知識を有する業者に委託して、新バスシステム運行前後のバス路線や本数、利用者の状況を整理し、さらには、区民の意向を把握するためのアンケート調査を実施し、調査結果を今後の検討に活かしていきたいと思っています。

東区自治協議会ニュース



～最近の主な活動についてご紹介します～

新潟市区自治協議会委員研修会に参加

7月6日、市内8区の自治協議会委員約130名が一堂に会し、東区プラザで研修会が開催されました。第1部は浜松市の職員を講師に迎え、「浜松市区協議会の取り組み」についての講演を聞き、第2部は参加委員が18班に分かれ、区自治協議会の取り組みや課題について意見交換を行いました。



講演会では、両市の協議会の役割は異なっていて、浜松市は市が提案する課題に対して意見を述べるのが主な役割ですが、新潟市は上記の役割の他に、各区の課題解決のための予算と企画・実施できる事業があり（区自治協議会提案事業）、活動内容がより明確であることが分かりました。

意見交換会では、活動内容が明確でやりがいがある一方、若者の参画や声をいかに反映していくか、活動内容周知の方策等の課題を共有しました。

（大江 謙作）

東区自治協議会委員研修会を開催～県立大学生とのワークショップ～

7月14日、新潟県立大学で研修会を開催しました。第1部は大学生とのワークショップ、第2部は施設見学を行いました。



ワークショップでは、「若者が考える東区のみちづくり」について、「防災・福祉・教育・文化、公共交通、商店街」の4つのテーマ別に意見交換を行いました。当日は、委員22名と学生約120名が参加し、委員がファシリテーターと記録係を務め、学生の声に耳を傾けました。



普段接する機会がない学生の皆さんと直接顔を合わせて話すことは、とても新鮮でいい経験となりました。ワークショップでいただいた若者の意見を、これからのまちづくりに繋げていきたいと思っています。

（大橋 宏子）

防災士紹介コラム



●防災士は地域防災の要

新潟市は、平成26年度から防災士の養成に取り組んできました。東区では39名が防災士養成の研修を受け、日本防災士機構の防災士に認定されています。

研修は2日間で、防災に関する教材で事前学習し、筆記試験を受けて合格すると防災士として登録されます。

地域防災の担い手は地域コミュニティ協議会と自主防災会であり、その中心で防災士が、防災に関する啓発や地域防災力のスキルアップのための活動を担っています。

今年度も新潟市は防災士の養成に取り組みます。貴方も防災士として活動しませんか？防災士としての貴方の活躍を期待しています。

（防災士 若槻 勲）

